

# 街頭で強調「国民、民主党」

「支持率1%」知名度向上へ危機感



街頭演説する国民民主党の玉木雄一郎代表＝JR亀戸駅前

2018.12.14 朝日

支持率が低迷する国民民主党の玉木雄一郎代表は13日、年内最後となる党の街頭演説をJR亀戸駅前（東京都江東区）で行った。「知名度アップ」に向けて党幹部が原則週一回街頭に立ってきたが、効果は見えてこない。

朝日新聞の世論調査では、国民民主党の支持率は5月の結党以来1%が続く。玉木氏は「そもそも党名が知られていない」と危機感を持ち、9月に代表に選出されると「年内3カ月

が勝負。一定の支持率向上を」とこ入れを指示。その一環として、街頭演説を定例化した。

党独自の調査で、とりわけ首都圏で支持率が伸び悩んでいると分析。各地からの通勤客が行き交う都心のターミナル駅のほか、郊外の駅にも足を運んだ。周辺に党名を書いたのぼりを立て、党幹部は野党第一党の立憲民主党と間違えないよう「国民、民主党」と強調して連呼。臨時国会の会期中は毎週木曜日の夕方を定

例日とした。13日の演説終了後、玉木氏は記者団に「なかなか数字には表れないが、確かな手応えは感じている。地道に繰り返すことが大事だ」と話した。（山岸一生）

2018.12.14 朝日

## 立憲、京都で擁立へ

### LGBT支援増原氏

2018.12.12 朝日 参院選

立憲民主党は来年の参院選京都選挙区（改選数2）で、レスビアンであることを公表し、LGBT支援に取り組み増原裕子氏（40）を擁立する方針を固めた。16日にも枝野幸男代表が同席し、京都市内で会見する方向で調整が進んでいる。増原氏は、経済評論家の勝間和代さん（49）が今年5月、同性のパートナーである

ると公表した相手。立憲京都府連幹部は「弱い立場の人に寄り添う政治を京都から発信してほしい」と述べ、目玉候補としたい考えだ。横浜市出身の増原氏は慶応大大学院修了後、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部に勤務。現在はLGBTコンサルタントとして、講演や研修を担っている。

2018.12.12 朝日

同じ旧民進党を母体とする国民民主党は前原誠司・府連会長の元秘書、斎藤アレックス氏（33）の擁立を決めている。立憲にとって京都は、党幹事長を務める福山哲郎・府連会長のおおむね元。かつて同志だった福山氏と前原氏との「代理戦争」の様相だ。福山氏は12日、すでに斎藤氏への推薦を決めている連合京都の幹部と会い、選挙戦での支援を要請する。同選挙区では自民党が現職の西田昌司氏（60）、共産党が現職の倉林明子氏（58）を擁立する。（安倍龍太郎）

2018.12.13 神戸



◆維新・清水氏が立候補表明 来夏の参院選兵庫選挙区（改選数3）で、日本維新の会の

公認を受けた現職の清水貴之氏（44）の写真が12日会見し、立候補を正式表明した。清水氏は「維新はしがらみのない政党。身を切る改革の徹底など、やるべきことがある」と強調。来年秋の消費税増税について「今は上げるべきでない」と明確にし戦ってきたい」と述べた。清水氏は福岡県出身で、関西学院大大学院修了。民放アナウンサーを経て、2013年の参院選で兵庫選挙区から初当選した。

◆維新が統一地方選で追加公認 日本維新の会兵庫県総支部は12日、来春の統一地方選に向けて神戸市議選で新人5人を追加公認した。立候補予定者は次の通り。（敬称略、かつこ内は選挙区）川口賢（灘区）▽大西勝一（兵庫区）▽長沢淳一（長田区）▽浅倉南（垂水区）▽佐藤町子（同）◆神戸志民党が神戸市議選の候補発表 地域政党「神戸志民党」（代表・櫻野孝人兵庫県議）は12日、来春の統一地方選で予定されている神戸市議選の候補予定者を発表した。いずれも新人で、公認の香川真一氏（西区）と、推薦の高橋秀典氏（垂水区）。追加の候補者選定を進めるとい